

株主の皆様へ

第131期 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで



株式会社 西島製作所

証券コード：6363

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当社第131期中間決算(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)を終えましたので、ここに第131期中間報告書をお届け申し上げます。

また、中間配当金につきましては、1株につき9円と決定いたしましたので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

このたびの東日本大震災により東北地方は甚大な被害を受け、その後発生した福島第一原子力発電所の事故による電力不足問題などは、被災地域のみならず、日本全国の経済や生活に大きな影響を与えました。

私たちはいま、工場やオフィス、家庭での省エネ・節電に取り組み、復興に立ち向かっています。

その中で当社は、「ポンプ de エコ」をスローガンにエコポンプによる省エネ活動を積極的に進めており、これを通して「東北、世界、そして地球に貢献」する企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 23 年 12 月



代表取締役社長
原田 耕太郎

〔表紙写真〕

お客様にエコポンプでの省エネ効果を実感いただくためのデモンストレーション見学会を実施中
※本見学会により、これまで 183 社、853 名のお客様が「ポンプ de エコ」を実感いただいています。

事業紹介

当社グループは、「ハイテクポンプ」、「プロジェクト」、「サービス」、「新エネルギー・環境」をドメインに、優れた製品・技術・サービスの提供を通じて社会の持続的発展に貢献しています。

ハイテクポンプ事業

ポンプ単体の提供

発電、海水淡水化、石油化学プラント向けなど常に高度なニーズに応えられる高付加価値ポンプ



発電用ポンプ



海水淡水化用ポンプ

新エネルギー・環境事業

風力発電、小水力発電、汚水の流送と処理、資源リサイクル



風力発電



小水力発電

プロジェクト事業

ポンプ場設備全体のEPC（設計・調達・建設）の提供

上・下水道、かんがい、排水設備などのターンキーベースの建設



上水ポンプ場



下水ポンプ場

サービス事業

オペレーション&メンテナンス、ソリューションの提供



ポンプ設備の診断



ポンプのオーバーホール





ハイテクポンプ事業

高度なニーズに応える高性能ポンプで、あらゆるプラントの信頼性・経済性を支えます。

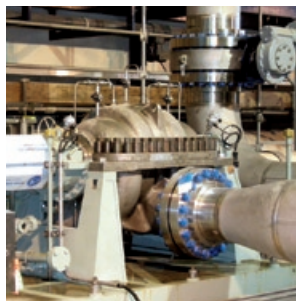
発電や海水淡水化、化学、上・下水道、農業用などのポンプとして、日本国内はもとより、世界各国に様々なプラントのコアとなるハイテクポンプを提供しています。また文化や産業の発展とともに、年々高度化、多様化していくニーズにお応えできるよう、最新の技術で更なる効率性を追求した省エネポンプを開発し、『ポンプ de エコ』をキーワードに低炭素社会への転換に貢献しています。



発電プラント用
ボイラ給水ポンプ



発電プラント用
ボイラ循環ポンプ



海水淡水化プラント用
高圧海水供給ポンプ



高効率・省エネ、環境対応型
エコポンプ（CAシリーズ）

トピックス



小型ポンプで大きく省エネ

日本の総消費電力量は年間約1兆kWhで、そのうちポンプが約1割を占めると言われており、ポンプで省エネすることは日本全体の省エネにつながるようになります。

一般的に省エネと言えば大型ポンプの更新を検討されることが多いですが、見落とされがちな小型ポンプにも大きな省エネの余地が残っており、工場に数多くある小型ポンプには省エネの種がたくさん隠れています。

例えば、大手飲料メーカー様の工場で使用されているポンプ12台をエコポンプに取り替えた際、既設ポンプと比較し、年間消費電力量を約18%削減、CO₂排出量を約70トン削減した事例があります。

当社は大型ポンプだけでなく、小型ポンプでの省エネ推進も積極的に行ない、日本全体の省エネに貢献しています。



片吸込渦巻ポンプ
(エコポンプ)





プロジェクト事業

設計から調達、建設まで、ポンプ設備全体を提供しています。

ポンプのパイオニアとして、製品開発、製造、販売はもちろん、ポンプ設備や関連設備の全体の建設を行なうEPCコントラクターとしても、国内はもとより世界各国で実績を重ねています。生活環境の基盤をなす上・下水道設備、かんがい設備などにおいて、設計から、必要機器の調達、建設までを全面的にコーディネートし、インフラ整備・拡充の一翼を担っています。



雨水排水ポンプ場（大阪）



河川排水ポンプ場（群馬）



上水道用 取水ポンプ場（沖縄）



かんがいポンプ場（佐賀）



上水道用 送水ポンプ場（アブダビ）



上水道用 配水ポンプ場（カタール）



下水中継ポンプ場（ドバイ）



上水道用 送水ポンプ場（香港）

トピックス

近畿地方整備局長様から 高川排水機場ポンプ設備新設工事にて表彰を受ける

平成23年7月に近畿地方整備局長様から、和歌山県東部の高川排水機場ポンプ設備新設工事の施工において「幾多の困難を克服して、優良なる成績をもって本工事を完成させた」として当社の施工技術や様々な工夫を評価いただき、表彰を受けました。



表彰状



排水ポンプの搬入



サービス事業

ポンプ設備をより長く、より効率的にお使いいただくために、最適なソリューションサービスを提供します。

ポンプのプロフェッショナルとしての専門知識と経験を活かし、アフターマーケットの分野でもお客様に最高のソリューションサービスを提供しています。ポンプ設備をより長く、より良い状態で使っていただけるよう、一つ一つの状況に応じて最適なソリューションを提案し、万全のサービスをお届けします。

■ トリシマが提供するソリューション

● オペレーション&メンテナンス

- ・ポンプ設備の据付及び試運転
- ・ポンプの定期的なオーバーホール
- ・ポンプ場設備全体の管理・運営
- ・ポンプ設備の点検及び修理
- ・現地エンジニアへの教育・指導



ポンプの据付



ポンプ設備の振動・騒音測定



ポンプのオーバーホール



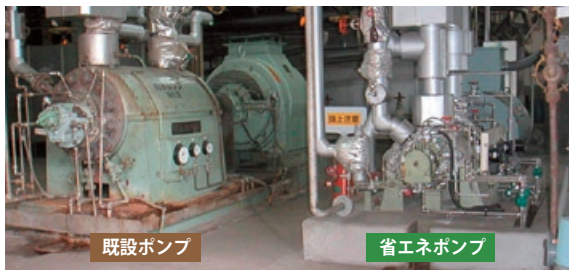
現地エンジニアへの指導



操作室での運転管理

● ソリューションの提供

- ・ポンプの省エネ提案
- ・ポンプの性能及び信頼性向上



既設ポンプ

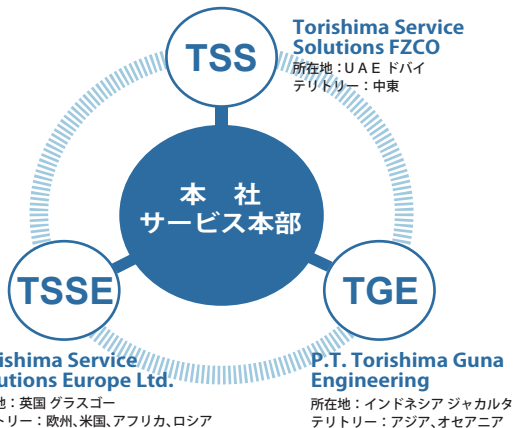
省エネポンプ

某プラントでの当社省エネポンプへの更新事例

より高効率で信頼性の高いポンプを提供することで、プラント全体の消費電力量やCO₂排出量を削減できます。



本社、TSS、TSSE、TGEの4拠点を中心に、グローバルなサービスネットワークを構築し、お客様のニーズにより柔軟に対応しています。





地球貢献型企業として、低炭素社会と環境保全に貢献しています。

CO₂排出量の削減を目的とした風力発電や小水力発電などを提供し、再生可能でクリーンな自然エネルギーの導入による低炭素社会への転換に貢献しています。また、汚水の流送や処理、様々な廃棄物や汚泥などを資源として有効活用する循環型環境システムを提供しています。

新エネルギー分野

風力発電

当社は、風力発電システムの導入に関する、風況・立地調査から事業計画、設計及び設置工事、メンテナンスに至るまでトータルなエンジニアリングを行ない、総合的にお客様をサポートしています。

風力発電設備の保守・点検について

風力のエネルギーを安定して得るためには、定期的なメンテナンスが重要です。当社は長年培ってきた風力発電の技術を活かすとともに、風力発電設備メンテナンスの専門会社であるイオスエンジニアリング&サービス株式会社（当社 49%出資）を通じて万全のサービス体制を整え、日本全国の風車の稼働率向上に努めています。



小水力発電

小水力発電は、河川、農業用水、砂防ダム、上下水道など、現在無駄に捨てられている水のエネルギーを有効利用するもので、出力変動が少なく、系統安定、電力品質への影響が少ない発電方式です。風力発電と同様に流況分析・現地調査から設計・事業計画及び設置工事、メンテナンスまでトータルなエンジニアリングで総合的にお客様をサポートしています。

小水力発電設備について

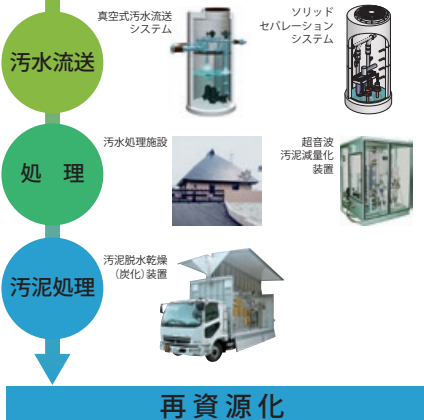
当社の小水力発電設備は、ポンプ逆転水車を採用しています。ポンプ逆転水車は一般的な水車に比べ、イニシャルコストや部品コストが低く、メンテナンス性が高いなどの特長があります。

近年では、海外でも注目を集めており、香港初の水車を受注するなど、当社の小水力発電設備に大きな期待が寄せられています。



環境分野

資源リサイクル



トピックス

沖縄県で汚泥炭化装置受注

近年、汚水処理施設から発生する余剰汚泥の処分は大きな問題となっており、この汚泥を脱水乾燥または炭化し、減容する装置が注目されています。

その中で、このたび、沖縄県宜野座村宜野座地区汚水処理施設向けに汚泥炭化装置を受注し、9月より供用開始しました。

炭化装置の処理能力は4 kg-ds/hで、処理された炭化汚泥は土壌改良材などに流用されます。





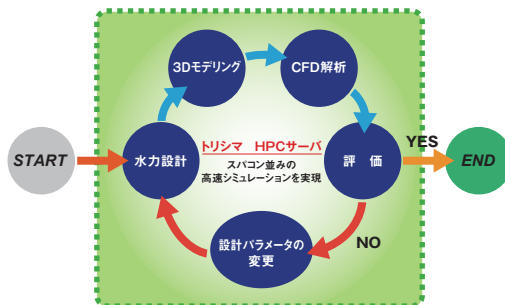
世界最高レベルのポンプ研究開発システムの導入

世界一のポンプメーカーを目指して当社では、2011年度の経営方針のひとつに「一に技術、二に技術、そして三に技術」をかけています。その推進の一環として、研究開発における大規模PCクラスターと最新の流体解析ソフトウェアを導入し、基本設計から解析・評価・設計パラメータ変更までを完全自動化するシステムを構築しました。

本システムの導入により、流体解析における計算スピードが飛躍的にアップし、より多くのシミュレーションを試せるようになりました。また、研究者本来の仕事である「考える時間」を多く持てるようになり、豊かな想像力や高いモチベーションが発揮され、思い切った設計にも挑戦できるようになりました。

今後も高度化、多様化するお客様のニーズに全力でお応えしていきます。

最適手法を取り入れ、基本設計から解析・評価・設計パラメータ変更までを
“完全自動化”



「ポンプd e エコ」全国に浸透中

温暖化ガス排出規制が拡大し、その対応の厳しさが増す中で、多くの企業様において工場設備の省エネ対策が大きな課題となっています。

当社では、こういった企業様の工場の省エネ、温暖化ガス削減に貢献すべく、「ポンプd e エコ」をスローガンに「エコポンプ」の積極的な普及活動を展開しています。

従来ポンプに比べて消費電力を大きく削減できるエコポンプの実機を用いたデモンストレーション見学会を実施したり、ポンプ設備全体の省エネ提案から効果の実証までをトータルにサポートしたりすることで、「エコポンプによる省エネ」をお客様に実感していただいています。

また、エコポンプは空調や排水処理用のユーティリティ、生産ライン用途など幅広く活躍できる場所があり、手軽に導入できることから「全国の工場へ展開しやすい省エネ機器」として全国各地で検討、採用いただくお客様が増えています。





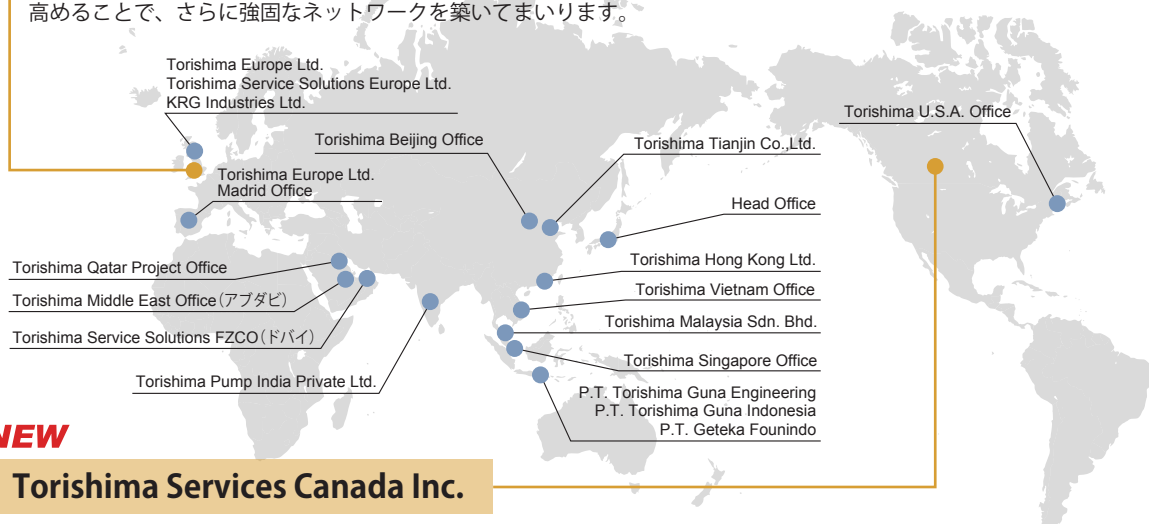
グローバルネットワークを拡大、世界市場への事業展開をさらに加速

NEW

Torishima Europe Projects Ltd.

当社は、すでに欧州において、販売会社(Torishima Europe Ltd. / 2008年6月設立)・製造会社(KRG Industries Ltd. / 2010年9月連結子会社化)・サービス会社(Torishima Service Solutions Europe Ltd. / 2010年5月設立)の3社を中心に、着実にその基盤を固めていますが、今回新たにプロジェクト事業を手掛ける子会社を設立。英国を中心とした欧州のインフラ市場における更新需要を取り込み、既存事業(ポンプ販売、製造及びサービス)とプロジェクトとの相乗効果を高めることで、さらに強固なネットワークを築いてまいります。

会社名	Torishima Europe Projects Ltd. (TEP)
代表者名	Steve Retford
所在地	英国 グラスゴー
設立	2011年5月
事業内容	英国を中心とした欧州地域のプラントエンジニアリング事業
資本金	1万ポンド



NEW

Torishima Services Canada Inc.

当社ポンプの販売促進をはじめ、現地に根付いたマーケティングを行なうことで、北米市場におけるサービス事業の拡大展開を目指し、カナダ・カルガリーに子会社を設立しました。

会社名	Torishima Services Canada Inc. (TSC)
代表者名	James D. MacFarlane
所在地	カナダ カルガリー
設立	2011年8月
事業内容	北米市場におけるポンプ及び関連製品の販売・サービス事業
資本金	1万カナダドル



東日本大震災に対する支援活動

被災ポンプの復旧作業及び復興支援ボランティア実施

このたびの「東日本大震災」で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

この震災により被災地では、多くのインフラ設備や、各企業の工場などが甚大な被害を受け、その中には、当社が納入したポンプも多数ありました。当社は、被災地の復旧と未来への復興のために「東北、世界、そして地球に貢献する」を2011年度の経営方針のひとつにかかげ、震災直後より、被災状況の把握及び復旧作業（ポンプの修理や交換、機能回復など）に全力をあげて取り組んでいます。また、被災地支援の一環として、社員約50名による復興支援ボランティアを実施し、瓦礫の撤去、個人宅の片づけ、写真洗浄などを行なっています。

被災地の皆様が安心な暮らしを取り戻せるよう、今後もポンプメーカーとしてできる限りの支援を行ない、東北、世界、そして地球に貢献し続けていきます。



津波により全損、機能停止した排水機場の復旧作業



復興支援ボランティア実施



教育CSR活動

「百聞は一見にしかず」 中東弾丸ツアー実施

2008年よりスタートした中東弾丸ツアーは、週末を挟んで機中泊を含む2泊5日の日程で若手・中堅社員を中東に派遣する研修ツアーです。今年も11名が参加し、これまでに90名を超える社員が参加しています。

この研修の目的は「百聞は一見にしかず」で、広大な砂漠の中にある当社製ポンプが何十百とフル稼働している勇壮な姿を見ることで社員が感動を味わい、また世界の大きさを感じるとともに視野を広げ、業務に対するモチベーションアップを図るというものです。

今後も「人が生き生きと仕事をしながら、組織としてもさらに業績を上げ続ける会社」を目指して当社の人材育成の試みを続けていきます。



アラブ首長国連邦の海水淡水化プラントの見学

営業の概況

経営成績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新興国の成長があるものの、米国の失業率、欧州の財政・金融問題等により、全体としては景気の減速感が見られました。

わが国経済におきましては、東日本大震災から供給網や生産体制が回復し、景気回復への期待があるものの、軟調な世界経済の動向、円高、株価下落、電力不足問題等、先行きは依然不透明な状態にあります。

当ポンプ業界におきましては、海外向けの水資源・エネルギー関連需要は底堅いものがあるものの、円高による競争力の低下や、財政再建策による公共投資の抑制傾向など、受注競争は厳しい状況で推移しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は24,142百万円（前年同期比8,672百万円増加）となりました。これを需要先別にみますと官公需は4,839百万円（前年同期比756百万円減少）、国内民需は3,133百万円（前年同期比439百万円増加）、外需は16,169百万円（前年同期比8,990百万円増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は21,787百万円（前年同期比1,784百万円増加）を計上し、当第2四半期連結会

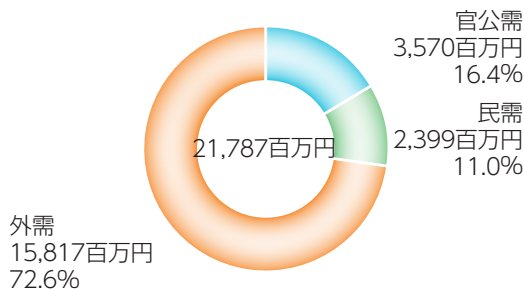
計期間末の受注残高は49,571百万円（前年同期比10,018百万円減少）となりました。

利益面につきましては、当第2四半期連結累計期間の営業利益は1,207百万円（前年同期比564百万円減少）、経常利益は、営業外費用として為替差損を543百万円計上した結果、825百万円（前年同期比915百万円減少）、四半期純利益は、特別損失として投資有価証券評価損を663百万円計上した結果、214百万円（前年同期比758百万円減少）となりました。

下期の見通し

平成24年3月期の業績予想につきましては、国内外の経済の先行きは依然不透明な状態にあること及び当第2四半期連結累計期間の業績等を勘案し、売上高は50,000百万円に減額しますが、営業利益は、下半期に海外連結子会社の貢献などで営業利益率が上昇すると見込んでおり3,100百万円となり、経常利益は、当第2四半期連結累計期間に計上した為替差損の影響を見込んでおり2,700百万円、当期純利益は、当第2四半期連結累計期間に特別損失に計上した投資有価証券評価損の影響を見込んでおり1,350百万円にそれぞれ減額いたしました。

平成23年度第2四半期連結累計期間 需要先別の売上高構成比



平成23年度第2四半期連結累計期間 需要先別の受注高、受注残高 (単位: 百万円)

需要先	受注高	構成比 (%)	受注残高	構成比 (%)
官 公 需	4,839	20.0	7,797	15.7
民 需	3,133	13.0	3,189	6.4
外 需	16,169	67.0	38,584	77.9
計	24,142	100.0	49,571	100.0

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前第2四半期末 平成22年9月30日現在	前 期 末 平成23年3月31日現在	科目	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前第2四半期末 平成22年9月30日現在	前 期 末 平成23年3月31日現在
【資産の部】				【負債の部】			
流動資産	40,571	43,526	42,537	流動負債	19,624	25,345	21,948
現金及び預金	9,424	5,905	8,074	支払手形及び買掛金	8,631	6,625	10,171
受取手形及び売掛金	19,864	17,826	23,358	短期借入金	3,164	4,342	3,703
商品及び製品	194	140	140	未払法人税等	56	707	359
仕掛品	5,978	8,355	6,190	前受金	3,101	9,784	2,630
原材料及び貯蔵品	1,889	1,820	1,704	賞与引当金	601	688	781
前渡金	905	5,776	937	製品保証引当金	1,318	1,345	1,611
繰延税金資産	1,368	1,205	1,391	工事損失引当金	663	103	679
その他	1,055	2,722	830	その他	2,086	1,748	2,011
貸倒引当金	△ 108	△ 227	△ 89	固定負債	7,648	6,614	8,261
固定資産	18,034	19,127	18,640	長期借入金	4,976	4,060	5,749
有形固定資産	9,176	7,916	8,327	退職給付引当金	1,998	2,022	1,981
無形固定資産	225	271	246	役員退職慰労引当金	17	14	15
投資その他の資産	8,631	10,940	10,067	債務保証損失引当金	98	100	98
投資有価証券	6,962	8,966	8,516	その他	558	418	416
その他	1,826	2,157	1,737	負債合計	27,272	31,960	30,209
貸倒引当金	△ 158	△ 184	△ 186	【純資産の部】			
資産合計	58,605	62,653	61,178	株主資本	30,882	30,309	30,972
				資本金	1,592	1,592	1,592
				資本剰余金	7,803	7,803	7,803
				利益剰余金	22,458	21,884	22,548
				自己株式	△ 972	△ 972	△ 972
				その他の包括利益累計額	△ 40	229	△ 179
				その他有価証券評価差額金	△ 168	△ 4	△ 36
				繰延ヘッジ損益	204	260	82
				為替換算調整勘定	△ 75	△ 26	△ 225
				新株予約権	64	38	51
				少数株主持分	426	116	123
				純資産合計	31,332	30,693	30,968
				負債純資産合計	58,605	62,653	61,178

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前 期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	21,787	20,002	49,880
売上原価	17,257	15,252	40,622
売上総利益	4,529	4,750	9,257
販売費及び一般管理費	3,322	2,978	6,130
営業利益	1,207	1,771	3,127
営業外収益	319	297	886
営業外費用	702	328	340
経常利益	825	1,740	3,673
特別利益	53	—	244
特別損失	663	96	696
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	215	1,644	3,221
法人税、住民税及び事業税	△ 9	659	1,192
法人税等調整額	—	—	110
少数株主損益調整前 四半期(当期) 純利益	224	984	1,918
少数株主利益	10	12	26
四半期(当期) 純利益	214	972	1,892

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

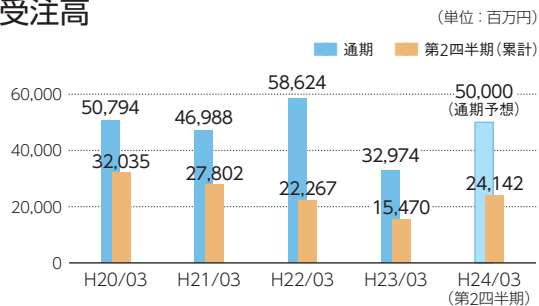
(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前 期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,590	441	735
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 247	△ 1,250	△ 75
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,929	△ 162	590
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 409	10	△ 43
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,004	△ 961	1,207
現金及び現金同等物の 期首残高	8,074	6,866	6,866
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	346	—	—
現金及び現金同等物の 四半期末(期末) 残高	9,424	5,905	8,074

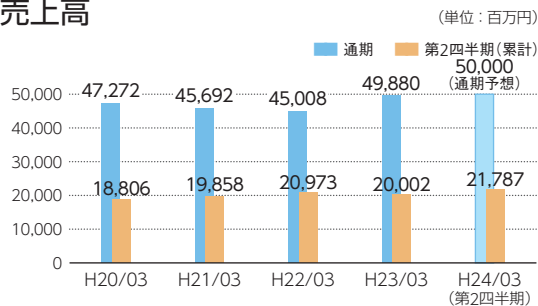
(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務ハイライト

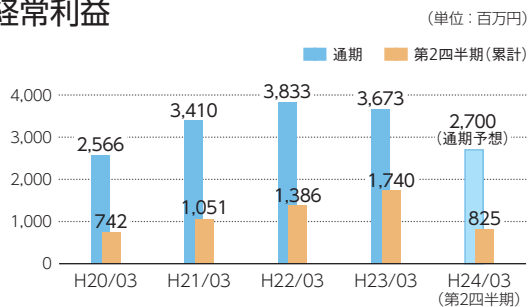
受注高



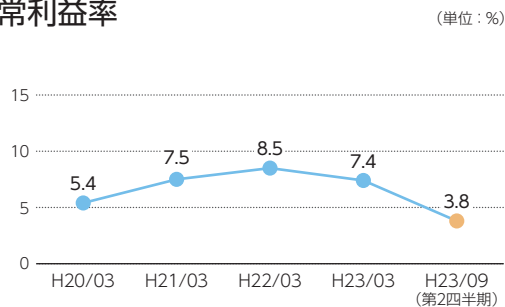
売上高



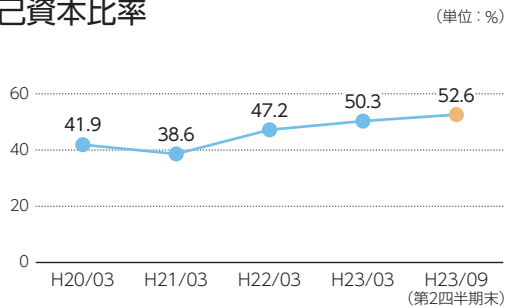
経常利益



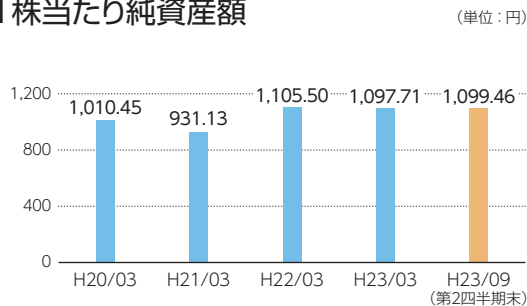
経常利益率



自己資本比率



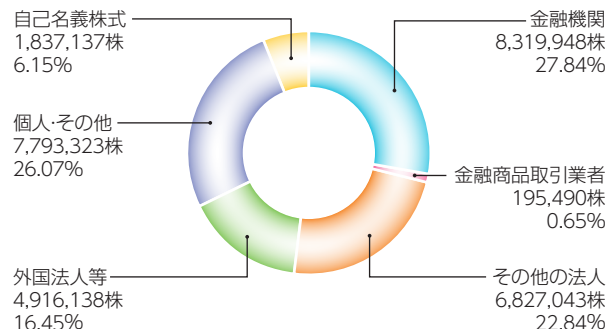
1株当たり純資産額



会社の概要 (平成23年9月30日現在)

商 号 株式会社 西島製作所
 創 業 大正8年8月1日
 設 立 昭和3年4月20日
 発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式の総数 29,889,079株
 資 本 金 1,592,775,030円
 株 主 数 10,270名
 従 業 員 数 738名
 ホームページ <http://www.torishima.co.jp>
 事 業 所
 本 社 大阪府高槻市宮田町一丁目1番8号
 支 社 東京
 支 店 大阪、九州（福岡市）、名古屋、札幌、仙台、
 広島、高松、シンガポール、
 中東（アラブ首長国連邦）、北米
 営 業 所 沖縄（那覇市）、佐賀、横浜、和歌山
 出 張 所 宇部、熊本
 海外事務所 北京（中国）、ドーハ（カタール）
 工 場 本社工場（大阪府高槻市）、九州工場（佐賀
 県武雄市）
 海 外 工 場 インドネシア、中国
 主要な子会社 株式会社 九州トリシマ
 西島ポンプ香港有限公司
 株式会社 風力エネルギー開発
 トリシマ ヨーロッパ株式会社
 西島ポンプ（天津）有限公司
 トリシマ マレーシア株式会社
 トリシマ サービス ソリューションズ株式会社
 トリシマ サービス ソリューションズ ヨーロッパ株式会社
 ケーアールジー インダストリーズ株式会社
 株式会社 トリシマ・グナ インドネシア
 株式会社 ゲテカ ファウンインド
 トリシマ・グナ エンジニアリング株式会社
 トリシマ ポンプ インド株式会社

所有者別株式分布状況



役 員

代表取締役社長	原 田 耕 太 郎
代 表 取 締 役	藤 川 博 道
取 締 役	廣 田 泰 直
取 締 役	内 田 貞 雄
取 締 役	久 島 哲 也
取 締 役	姫 野 寛 文
常 勤 監 査 役	吉 田 欽 一
常 勤 監 査 役	塚 島 昭 次 郎
監 査 役	豊 藏 亮
監 査 役	井 本 勇
監 査 役	津 田 晃

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日、9月30日、その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.torishima.co.jp) に掲載します。ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所 市場第一部

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



©Shinzi Katoh/そらべあ®RFG

この報告書を印刷する際の電力は100%グリーン電力（風力）により賄われています。

